

# 越前打刃物に 企業関係者と 技術交流の 交流会

越前市に700年の歴史を有する伝統産業「越前打刃物」の企業関係者と原子力機構のレーザー技術開発で得られた知見やノウハウを生かして新製品開発を目指した技術交流会を行っています。



JR 武生駅構内に展示されている越前打刃物でできた「昇龍」

「越前打刃物」は、昭和54年に全国刃物業界では初めて伝統工芸品として国の指定を受けました。その発祥は、「室町時代の初め頃、京都の刀作りの職人が、刀剣製作にふさわしい土地を求めてこの地にやって来た時、近くの農民のために鎌を作ったことが始まりだったと言われています。」（「越前打刃物協同組合」HPより）

この職人技に、ある意味、原子力機構の職人技である「レーザー技術」を活用して、Japanブランドを創ろうという取り組みです。現在はレーザーによる鍛造や焼き入れを検討して



おり、従来の刃物とどのくらい硬さや切れ味が変化するかを試験を行なう予定です。今後その結果等も紹介していきたいと思えます。

## 参加団体

越前打刃物協同組合

武生商工会議所

若狭湾エネルギー研究センター

日本原子力研究開発機構

# 技術交流



原子力機構